

(1) 2017(平成29)年 2月 2日発行

ENGARU ROTARY CLUB, AREA 4, RID2500

**遠軽ロータリークラブ**

国際ロータリー 第2500地区 第4分區

## 第2810回例会記録

司会: 上田 稔 副SAA④

遠軽ロータリークラブ通常例会

日時: 2017年 1月26日(木)12:30~

場所: ホテルサンシャイン 2F



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016-17 RIテーマ

- ★開 会 点 鐘 : 黒坂 貴行 会長
- ★国 歌 : -
- ★R ソ ン グ : 我等の生業
- ★四つのテスト : -

< 平和と紛争予防/紛争解決月間 >

2016~2017

# Weekly Report No.27

本日のプログラム  
2017年 2月 2日(木) 12:30~  
委員会担当プログラム  
国際奉仕委員会

次のプログラム  
2017年 2月 9日(木) 12:30~  
会 員 卓 話  
山田 莊一 会員

## 黒坂貴行 会長 ターゲット: 地域のため、行動しよう!

### ◇本日のゲスト

遠軽町役場民生部住民生活課

課長 小野寺 正彦 様①

### 会長報告 黒坂 貴行 会長②

今日のプログラムは、先刻ご紹介の“本日のゲスト”による「ごみ焼却施設について」のお話をさせていただきます。よろしくお願いたします。

23日に天皇陛下の退位に関する有識者会議が論点整理を発表しました。新聞一面に意見と課題が載っていましたが、皇室典範に「一代限りの退位とする」付則をつける案が付いていくくらいが新しく、中間発表と大きく変わるものではありませんでした。これから国会内で各党との議論に移りますが、それぞれの党の考えが幅が広く、国民の総意となる案にまとまるのか、不安になっています。決して政争の具になっては、いけないと思います。

国際ロータリー・ライズリー会長エレクトが次年度のテーマを発表しました。「ロータリー: 変化をもたらす」です。ロータリーに変化をもたらすのか、どう解釈するのかは、内容を見ないことには判断できません。また、発表のなかで、環境問題の重要性を訴えて、今年7月1日から来年4月22日の「アースデイ」までに、各クラブで会員数分の木を植えるよう呼びかけました。世界の全クラブが参加すると120万本の植樹になります。正式に参加要請が来るのかも分かりませんが、たぶん、自由参加でしょうが、38本の植樹となると、しっかり考えないといけません。

### 幹事報告 遠藤 利秀 幹事③

1. (株)オクトンより「2017年2月以降の商品貼付ロゴについてのご連絡」がありました。

『従来の金・紺2色のロゴを使用した商品の販売ができなくなり、今後の注文に関しては商品カタログとロゴが違うものが届くこととなります。なお、使用を制限するものではないので、今までの商品はそのまま使用可能です。会員章



のデザインに関しては、今まで通りの2色ロゴで変更はありません。』

2. イアン・ライズリーRI会長エレクトより2017-2018年度国際ロータリーのテーマが発表されました。テーマは「ロータリー: 変化をもたらす」です。
3. 健康上の理由で長期欠席をしていた日野会員が次週2月2日の例会から復帰します。
4. 本日例会終了後、理事会を開催いたします。

### 委員会報告

◇東海林 勉 メディア委員⑤

本日配布の「ニコニコBOX」の合計額に誤りがありました。正しくは、“315,400円”です。

【名前後の○数字は写真の番号】

**本日のプログラム** ゲスト卓話

海野 功 プログラム委員長⑥

本日は遠軽町の小野寺正彦様にお話を頂きます。講師プロフィールはレジメをご参照下さい。

**新ごみ焼却施設について**

遠軽町民生部住民生活課 小野寺 正彦 課長①

お手元の資料を元にパワーポイントで進めさせていただきます。

経緯ですが、現在のごみ焼却施設は平成5年4月から稼働、その後、排ガス等の法規制が改正され、処理施設を増設等して現在に至っています。

稼働後18年経過した平成23年、施設の修繕費用が高額に推移していることから精密検査を実施したところ、早急に更新か大規模改修が必要との結果がでました。また、ごみの埋め立て地の問題からも同年12月、町長は福祉センターに優先してごみ焼却施設の建て替えを表明しました。

○新ゴミ焼却施設の概要(右上は完成予想パース)

稼働予定 平成30年1月

焼却規模 1日32トン

総事業費 約40億円

交付金 循環型社会形成推進交付金(熱回収施設)

事業内容 焼却施設建設,用地造成,給水管引込等

建築主 遠軽地区広域組合

施工管理 (株)エイト日本技術開発

プラントメーカー 荏原環境プラント(株)

○余熱利用

排ガス冷却時に発生する余熱を利用し、燃焼用空気加熱、給湯暖房用熱源、そして構内道路のロードヒーティング用熱源として利用する。

○雨水利用

場内の雨水、融雪水は雨水貯留槽で一時貯留し、プラント用水(冷却水等)として使用するのでランニングコストの低減、断水時の対応となる。

○構造・環境対策

処理能力を向上させた受入・供給設備となり、環境対策も大幅に基準値を下回るものとなる。

○整備・運用方法は公設民営(長期包括委託15～20年程度)：公共が資金を調達し、設計・建設を行う。維持管理・運転は一括して民間事業者に長



**燃やすごみ**

台所ごみ

布・靴類

紙くず

その他

**燃やさないごみ**

金属類

ゴム・ビニール製品類

ガラス・陶器類

容器類

資源にならないプラスチック製品

その他

「遠軽町ごみ分別の手引き」より

期契約による委託を行う。これによりランニングコストや人件費などを抑えることが出来る

○ごみ分別の変更

今まで「燃やさないごみ」として、そのまま埋め立てられていた廃プラスチック類を、新ごみ焼却施設で処理することが可能となる。(右下図参照)

これにより、廃プラスチック類の減容化になり最終処分場の延命化につながる。

**ニコニコBOX**

佐久間 英昭 親睦活動委員長⑦

乾 禧賞会員 誕生日 5,000円

木村一則会員 従業員が人命救助で感謝状授与 3,000円

2016-17年度 合計323,400円

※会報24～26号記載合計額に-7,000円ずつの誤りがありましたのでお詫び申し上げます。

☆閉会点鐘：黒坂 貴行 会長  
☆今月会報担当：山田 莊一 会員

2016-17\_27th-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
	竹内 徳治 出席委員長⑧	1月19日	38	33	26		78.8%
	1月26日	38	33	25		75.8%	

編集・発行：メディア委員会	
委員長：須藤順一	副委員長：高井一博
委員：東海林勉	山田莊一 棚橋 忠
本吉春雄	吉川 紘 乾 淳

2016-2017年度 国際ロータリー  
会長：ジョン F・ジャーム  
第2500地区ガバナー 駒形曙美(北見RC)  
第4分区ガバナー補佐 飯田弘明(紋別RC)



遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：黒坂貴行 副会長：中川満之  
会長エレクト：成田弘明 幹事：遠藤利秀  
会計：島田光隆 SAA：日野邦彦  
直前会長：木村一則 事務局員：高野郁子  
◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目 遠軽商工会議所内  
Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com  
【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30～13:30 \*第3木曜日は夜間例会 18:00～(19:00)

